

平成27年度第1回日本生理学会教育委員会議事録

日時 2015年3月20日 10時00分～12時00分
会場 神戸国際会議場 504
出席者 石松 秀（西九州大）、奥村 哲（静岡理工科大）、久野 みゆき（大阪市大）、鯉淵 典之（群馬大）、小山 なつ（滋賀医大）、椎橋 実智男（埼玉医大）、渋谷 まさと（女子栄養短大）、鈴木 敦子（健康科学大）、中島 昭（藤田保健衛生大）、深田 優子（生理研）、南沢 享（慈恵会医大）、山下 俊一（女子栄養大（編集広報委リエゾン）、渡邊 マキノ（順天堂大（認定委リエゾン））（以上50音順）
欠席者 奥村 敏（鶴見大）、松田 哲也（玉川大）、
議長 鯉淵 典之 委員長 書記 奥村 哲

【報告事項】

1. 前回議事録について（奥村哲委員、資料1）

平成26年11月2日開催の平成26年度第4回教育委員会議事録が承認された。

2. 生理学会理事会報告について（鯉淵委員長、資料2）

永年の生理学教育への貢献に対して学会感謝状を贈呈するカエル捕り名人の大内一夫氏が第92回大会会場に全日参加されること、また学生の生理学クイズ大会参加状況等について報告された。

3. 日本医学会総会ポスターについて（鯉淵委員長）

編集広報委員会、多久和委員長の依頼で日本医学会総会ポスターを作成した。ポスター内容は、学会HPとFAOPSと教育関連の情報がメインである。

4. 日生誌教育のページについて（久野委員）

配布資料に基づいて7月号までの予定について報告があった。その上で、今後以下のテーマについて相応しい先生に依頼していくことが確認された。

リトリート（鯉淵先生から依頼）、研究倫理（生理学教育・研究における倫理）（蔵田先生＜久野先生依頼）、ICTを使った授業形態（村上先生@群大＜鯉淵先生依頼）、小林直人先生（＜石松先生依頼）

5. FAOPS 2015 教育ワークショッププログラム（鯉淵委員長）

2015年11月23～25日にバンコクで開催されるFAOPS 2015のPhysiology medical educationのセッションで、鯉淵委員長が日本のMD-Ph. Dコースと生理学エデュケーター制度について講演する。またFAOPSで生理学教育について話すパネリスト学生を募集（生理学会or FAOPSからお金出せるかも？石松先生）

6. 生理学エデュケーター認定委員会について（中島生理学エデュケーター認定委員会委員長）

第1回の認定については、認定証の発送まで行った（ただし、認定証の差し替えがあった）ことが報告された。マイページからバーコードを印刷して持参する段取りだが、持ってこられない先生の対策について確認された。また将来的に、教育プログラム登壇者などを集めたeducation caféについても開催を検討していくことが報告された。

7. 出版物（MCQ（南沢委員）、クリアブック（渡邊リエゾン委員）、一步一步（渋谷委員））進捗状況

MCQ (南沢委員) : 問題数を 634 >> 400 問程度にする。そのためのブラッシュアップ (仕分け) 作業を行った。その後、新作問題を集め、これがある程度集まった状況にあり、新たに作成する問題数が決まった。今後、先生による A, B, C, D の難易度分類の統一や、想起的な問題を最終的にどの程度の割合にするかなどが課題として残っている。現状、項目によっては、問題が存在しない項目も一部残る。そのような場合は想起的な内容でも重要なものは一部残して良いのではないか等の意見が出された。MCQ の委員は 5 月 24 日 9 時からブラッシュアップ作業を慈恵会医大において行う予定である。

クリアブック (渡邊リエゾン委員) : 4 月 13 日に初稿原稿を締め切り、その後 6 月に初稿校正 (先に初稿を組んでもらってブラッシュアップ 6/13 9 時から医学書院にて行う) 予定である。

一步一步学ぶ生命科学 (渋谷委員) : 配布資料により、MediaWiki でパッケージを作って、それを Moodle に移行する形で、Moodle 2.7 に対応する形になっていることなどが説明された。リマインド/おめでとう自動メールが送られることで、提出率、成績共に良くなっている。また SQS でマークシートへの吐き出し > 採点も可能である。委員の中から使える人は使っていくことが呼びかけられた。

8. **生科連 (渋谷委員、鯉淵委員長)** : 高校生物教科書については、今後 10 学会程度で意見集約する (渋谷委員)。ポスドク問題 (生科連からの < 重要なお願い >) について報告 (鯉淵委員長)。ポスドクの教育について、キャリアパスについての検討であることなどが話題になった。

【討議事項】

1. 神戸大会での教育プログラム (21 日 22 日 午前午後) について (石松委員、鯉淵委員長 資料あり) 教育プログラムのプログラム、当日の各人員の役割分担、模擬学生の参加状況、座長による紹介というについて確認した。控え室の鍵の管理については椎橋先生。学生の誘導は渡邊先生、小山先生。学生の座席は何らかの方法で分けて確保することなどが決まった。
2. 教育プログラム撮影後の撮影ビデオ編集作業について (鯉淵委員長、石松委員)
以下のように決定したが、詳細は今後、検討を続けることが確認された
編集作業を誰がするか? > 撮影は我々がやって、15-20 万円くらいで、編集できる業者を検討する。
アップロードは我々でやる。容量は UMIN で許容される限りやる 20MB/1 プログラム。
モデル講義だけではなく教育講演も含めてアップするか? (過去に遡って許可をとるのが大変であるが、検討は続ける)。また Web アップ素材の著作権の問題についても、継続して検討する。
3. FAOPS 2019 (3 月 27-28 日 (会期は 31 日まで)) 教育ワークショップ (椎橋委員、中島委員、渋谷委員が参加) については医学教育学会と共催か協賛する方向で検討する。
実行委員長は鯉淵委員長。プログラム内容の検討 (一部は 28 日に日本語で?)。
プレナリーレクチャーは英語 + 同時通訳。また SIMLIMPIC についても行う方針が確認された。
ちなみに日本生理学会は 28 日 29 日 30 日 31 日である。
4. 教育委員会 HP について (山下リエゾン委員。資料あり)
配布資料にもとづいて、学会 HP 中の教育のページ (生理学教育ニュースなど) のあり方について審議された。生理学教育ニュースそのものは残しつつ、写真などを背景にあげていく。エドゥケーターのリストを HP トップと教育関連ニュースに載せる。古いニュースでも大切なものは残しておく。教育コンテンツをアップしてく > そのためのボタンを作成する。などの方針が決められた。